

# 視聴覚教育

NO. 235  
 発行日 9. 9. 5  
 発行 岡崎市AVL  
 編集 現職教育委員会  
 視聴覚部

## 夏期実技講習会報告

学校が夏季休業に入った七月中旬から八月下旬にかけて、視聴覚関係の実技講習会を開催しました。

◆**視聴覚教育技術者**（十六ミリ映写機器操作認定）講習会  
 七月二十六日（土）

於 情報ネットワークセンター  
 十六ミリ映写機の取り扱い資格者養成を目的として実施しました。社会教育関係者三十八名、学校教育関係者十九名の参加を得ました。映写機の台数を増やして機器に触れる時間を確保したり、自作のビデオ番組で操作方法を学習したりと、中身の濃い講習会になりました。

◆**VTR実技講習会** 七月三十一日（木）

於 情報ネットワークセンター  
 初級コースに社会教育関係者九名、学校教育関係者九名、中級コースに社会教育関係者九名、学校教育関係者八名、計三十五名の参加を得て行いました。初級コースでは撮影を中心とした実習を行い、中級コースでは持ち寄った映像を

編集して作品に仕上げました。

◆**校内放送講習会**

市内の小中学校から、放送担当の児童生徒と教師約二百名の参加を得て行いました。竜美丘小学校と新香山中学校の校内放送の実践発表に引き続き、東海ラジオ放送の奈良まなみアナウンサーによるアナウンスの楽しさや技術、意義についての講演と実技指導が行われました。本物のニュース原稿を使つての実技がとても好評でした。

◆**パソコン講習会** 七月三十一日（木）

於 新香山中学校  
 八月一日（金）  
 市内小中学校の教員五十名の参加を得て、二日間の日程で行いました。授業で使えるソフト（TOWNS—GEARなど）を利用して実習を進めたり、ISDN（総合デジタルサービス網）についての研修を深めました。



### 視聴覚用語

『イントラネット』  
 インターネットとローカルエリアネットワーク（LAN）を組み合わせて生まれた造語。インターネットの技術をLANに組みこむことで、文字や静止画などのデータも容易にやりとりできる。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

## 中学校放送コンテスト

### 県大会の結果

七月五日（土）、名古屋市教育局において、平成九年度第十四回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会が行われた。岡崎市の結果は、以下の通りである。

《アナウンス部門》

・最優秀賞 竹内 梢（城北中）

・優秀賞 川島 沙織（常磐中）

・優良賞 峰澤佐由巳（常磐中）

・優良賞 小林麻衣子（葵 中）

・優良賞 梅村 亜衣（城北中）

《朗読部門》

・最優秀賞 浅井千代子（城北中）

・入 選 柴田 美紀（葵 中）

・入 選 長坂 優一（常磐中）

《テレビ番組部門》

・最優秀賞 『3人からの贈り物』（美川中）

・優秀賞

『ふるさとの歴史 ガラ紡』（常磐中）

・入 選

『ちよっとまって あれっ泣いてるよ』（矢作中）

なお、それぞれの部門において、優良賞以上の受賞者及び作品については、全国大会への参加が決定した。

## デジタルカメラの有効活用

井田小学校 山元 嘉与

新しい視聴覚機器が次々と教育現場に導入され始めている。デジタルカメラも例外ではなく、今後、急速に教育現場に入ってくる機器の一つと思われる。

デジタルカメラの利点である、撮った映像を、すぐに教室のテレビにつないで見られる特性を生かして生活科の授業を行った。

生活科は野外活動が多い教科である。子供たちが活動の中で発見するものは様々で、探検が終わった後の教室は子供たちの発見したものでごった返している。しかし、「大きなかっかい木を見つけたんだけど持ってこれなかった。」「ぶどうの実が付いていたんだけど、高くて持っただけで取れなかった。」など、発表の場面で発見したものを見せられずに、寂しそうな顔をする子供も多い。

そこで、デジタルカメラの操作方法を教え、実際に子供たちに発見したものを撮影させてみた。自分たちで撮影した映像を見せながら、得意そうな顔で発表をする子供たちの顔がとても印象的だった。また、昨年の秋に行っ



た「どんぐりごまづくり」の授業では、よく回るごまを分割画面でテレビに映して、ごまづくりの参考にさせることもできた。

今までは写真を教材提示機で映すことが多かったが、その時間の中で撮った映像をすぐに映すことのできるデジタルカメラは、とても有効な視聴覚機器であることを実感している。

### II レットライ II

## モバイルPC活用のすすめ

パソコンの活用法として最近注目を集めているのが、小型ノートパソコンやハンドヘルドパソコンを用いての「モバイル」です。モバイルPC（パソコン）は携帯性に優れ、デスクトップパソコンと同等の機能を場所を選ばず発揮できます。ワープロや表計算、データ管理などソフトウェアの利用はもとより、教室や特別教室でCD-ROM図鑑を利用して資料を検索したり、外部モニタを接続して児童生徒に提示することもできます。また携帯電話やPHSに接続し、いつでもどこでもインターネットから情報を引き出したり、電子メールのやりとりも可能となります。モバイルPC用のOSであるWindows CEを搭載した機種も登場し、多くの学習情報を手軽に持ち運びできることで、授業への活用の可能性も広がりとつあると言えるでしょう。

（情報教育主任会 広報部）

## ライブラリーだより

### ☆自作OHP・TP作品募集

市内の幼稚園や小中学校に勤務する先生方の自作したTP教材を募集しています。

#### ・規定

- (1) 一時間または一単元で、教科・領域は自由
- (2) 一人一作品または一グループ（代表者明記）一作品
- (3) TP枚数は制限なし

(4) 未発表のもの（ただし、コピーなど著作権に抵触しないよう配慮すること）で、作成方法は自由

#### ・応募方法

- (1) TP一枚ごとに学校・園名、氏名を記入
- (2) 厚手の封筒等に作品を入れ、出し入れしやすいように配慮
- (3) 応募個票一枚を封筒の表に貼付
- (4) 応募個票八枚とTPを同封

#### ・応募先

岡崎市視聴覚ライブラリー

十月九日（木）必着

※アイデアに富んだ作品をお待ちしております。どしどしご応募ください。

### ☆教材配達サービスのお知らせ

二学期の教材配達サービスは、九月二日（火）から開始しています。ご利用下さい。

